

科目名	福祉ビジネス特論 Welfare Business		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・木・5 限	-	-	-
担当教員名	渡邊 敏文	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>近年、福祉の事業展開をサービスとビジネスの両側面から論じることが中心となってきた。このような状況を踏まえ、本授業においては、福祉の制度や組織、人事・労務管理、サービス提供、地域福祉の創造などの具体的事項について、講義・ディスカッションを行う。</p> <p>これらをとおして、福祉経営に関する総論と各論をバランスよく学び、最終的には福祉経営の事業創造を実践することが可能となる基礎的な力を身につける。</p> <p><到達目標></p> <p>福祉経営の事業創造を行うために必要な福祉の制度や人事・労務管理について理解できる。</p> <p><講義計画></p> <p>1 回目：日本における社会保障の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本における社会保障全体の制度とサービスを学ぶ。 <p>2 回目：日本における社会福祉制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：日本における社会福祉全体の制度とサービスを学ぶ。 <p>3 回目：高齢福祉分野におけるサービスの提供の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：高齢福祉分野における制度とサービスの実際を学ぶ。 <p>4 回目：障がい福祉分野におけるサービスの提供の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：障がい福祉分野における制度とサービスの実際を学ぶ。 <p>5 回目：福祉サービスの特質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービス独特の性質を学ぶ。 <p>6 回目：福祉サービスの理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを提供する際の考え方について学ぶ。 <p>7 回目：福祉サービスの組織に関する基礎理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを提供する際の組織について学ぶ。 <p>8 回目：福祉サービスの経営に関する基礎理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを経営する際に必要な基礎理論について学ぶ。 <p>9 回目：福祉サービス提供組織における人材の養成と確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを提供するために必要な人材の養成と確保について学ぶ。 <p>10 回目：福祉サービスの管理・経営・運営の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを経営する際に必要な管理・経営・運営の方法について学ぶ。 <p>11 回目：福祉計画の意義・種類・策定方法と福祉経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉サービスを経営する際に関わる福祉計画の意義・種類・策定方法について学ぶ。 <p>12 回目：地域福祉計画・地域福祉活動計画と福祉経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：地域福祉を推進していく上で必要な地域福祉計画・地域福祉活動計画について学ぶ。 <p>13 回目：住民がつくるコミュニティケアの創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：福祉の主体である地域住民とコミュニティケアについて学ぶ。 				

14 回目：地域における福祉経営の総合的創造

- ・要点：地域において福祉経営を行っていく際に必要な総合的創造の考え方について学ぶ。

15 回目：まとめ

- ・要点：これまでの授業の総まとめを行う。

<講義の進め方>

各回の授業において、講義を中心として行うがディスカッションも織り込んでいきたい。

<事前事後学習内容>

事前学習として講義計画の各項目に応じその概要を調べてくる、また、事後学習として学習内容を実際の福祉現場で実践できるようにする。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習にはそれぞれ2時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をする。

<教科書及び教材>

教科書は使用しない。授業において、その都度、資料を配付する。

<参考書>

『社会福祉施設経営管理論』（改訂9版）浦野正男編著 社会福祉法人全国社会福祉協議会発行
2018.3.9

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。期末試験、討議への参加度合を8:2の比率で評価する。

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

講義にて全体に対してフィードバックする。

<履修条件>

特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー>

月曜日 13:10～18:00

<その他>

特になし。